

会告 III

第20回 国際輸血学会アジア部会 (XXth Regional Congress of the ISBT, Asia) のお知らせ (第1報)

来年(2009年)の秋、下記の要領で、第20回 国際輸血学会アジア部会を開催致します。多数の皆様のご参加をお待ちしています。

国際輸血学会(International Society of Blood Transfusion: ISBT)は、70年余の歴史(1935年創立)を持つ、由緒ある国際学会です。創立以来2年に1回総会を、1989年からはヨーロッパ、アジア両部会を追加し、最近では偶数年に総会、奇数年に両部会、即ち2年間に3回、世界各地で学会を開催しています。現在、95ヶ国以上、約1,300名の会員を擁していますが、実際の学会では2,000名を超える方々が参加されています。

我国では過去2回、1960年(福田保会長、東京)、1996年(湯浅晋治会長、幕張)に総会が開催されており、今回は3回目、初めてのアジア部会ともなります。本学会では従来の輸血分野の諸課題に留まらず、再生医療を中心とした細胞治療にも踏み込んだプログラムを準備しており、induced Pluripotent Stem cell(iPS細胞)、Regenerative Medicine(再生医療)を始めとする日本の最新技術と国際的な先進医療が一堂に会し、情報の交換を行なう意義は極めて大きいと考えられます。

また、通常のISBTのプログラムに加え、本学会では初日にJapanese Educational Day(日本語プログラム)を設け、学会中のPlenary Sessionでは同時通訳を準備し参加者の便宜となるよう企画しています。さらに認定輸血検査技師更新については、国内、海外学会参加の合算を検討するとともに、参加費も国際輸血学会非会員の正規参加費に比べ明らかに低額に設定いたしました。一人でも多くの方々のご参加をお待ちしています。

記

1. 学 会：第20回 国際輸血学会アジア部会 (XXth Regional Congress of the ISBT, Asia)
2. 日 程：平成21年(2009年)11月14日(土)～18日(水)
 - ・本学会は日本輸血・細胞治療学会秋季シンポジウムとの併催、日本血液事業学会、全国大学病院輸血部会議の協賛となっております。
 - ・プログラムとしては、初日(14日)のみ、国内3団体によるJapanese Educational Day(日本語プログラム)、15～18日は国際輸血学会と共通となります。
3. 会 場：名古屋国際会議場(〒456-0036 名古屋市熱田区熱田西町1番1号)
Tel: 052-683-7711, Fax: 052-683-7777, URL: <http://www.ncvb.or.jp/ncc>
4. 参加費：全学会日程通しの統一価格、28,000円(170ユーロ)を予定しています。
 - ・国際輸血学会非会員の正規参加費(350ユーロ)とは異なり、日本人参加者用の特別設定ですので、是非事前登録をお勧めします。詳細は改めてご連絡する予定です。
5. 事務局
会 長：愛知医科大学輸血部教授 高本 滋
事務局：〒480-1195 愛知県愛知郡長久手町大字岩作字雁又21
愛知医科大学輸血部准教授 加藤 栄史
TEL: 0561-62-3311(代表), FAX: 0561-61-3125
E-mail: jstmct16@aichi-med-u.ac.jp